

5 その他

一般教科 (人文科学) 伝承資料にもとづく地域文化の研究



教授
大島 由紀夫

■産学連携の可能性

1. 古典籍を主とする伝承資料の調査・保存、及び地域特性の探究
2. 自治体・企業における教養講座

【主な研究分野】

1. 中世日本文学
2. 伝承文学
3. 寺社縁起

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 縁起伝承の神話的機能に関する考察
2. 中・近世における物語文学（お伽草子など）の展開
3. 在地伝承にもとづく地域文化論
 - 1) 在地縁起と信仰文化
 - 2) 温泉をめぐる在地伝承
 - 3) 古文献（古文書）の解説・解説提供

【主な研究成果・特許など】

1. 『西上州・東上州の誕生—交感する中世の神話と歴史—』〈地域学ブックレット 群馬の歴史と文化遺産vol. 6〉2021年・群馬県立女子大学群馬学センター刊（共著書）
2. 『中世衆庶の文芸文化—縁起・説話・物語の演変—』2014年・三弥井書店刊（著書）
3. 『チェスタービーティーライブラリ所蔵 俵藤太物語絵巻』2006年・勉誠出版刊（共著書）
4. 伝承文学資料集成第6輯『神道縁起物語（二）』2002年・三弥井書店刊（著書）



5 その他

一般教科 (人文科学) ゴルフに関する研究



教授
櫻岡 広

■産学連携の可能性

1. ゴルフに関する技術指導
2. ゴルファーのためのトレーニングに関する研究

【主な研究分野】

1. ゴルフのパッティングに関する研究
2. ゴルフのためのトレーニング

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. ゴルフのスイング分析やパッティングの測定をもとに、技術指導をおこなう
2. ゴルファーのためのトレーニングについての研究

【主な研究成果・特許など】

ゴルフのパッティング戦術を考えるための基礎的研究
群馬栃木体育学研究（2003）



5 その他

一般教科（人文科学）効果的な英文法教育の研究



教授
熊谷 健

■産学連携の可能性

1. 高等英文法講座
2. 英語語彙力増強講座

※言語理論的観点や歴史的観点からのアプローチが特徴的

【主な研究分野】

1. 英語学習初期における効果的な文法教育
2. 日英語の対照研究による効果的な言語教育

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 研究概要

1) 英語学習初期における効果的な文法教育

英語の文法規則をできるだけ少ない数の記号で、より効果的な構造把握を目指すために、どのようなアプローチが望ましいかということを実践を通して追求する。生成文法理論などから得られた言語学的見地を下に、「記号づけ」を利用し、実践的に効果的な手法を提示する。

2) 日英語の対照研究による効果的な言語教育

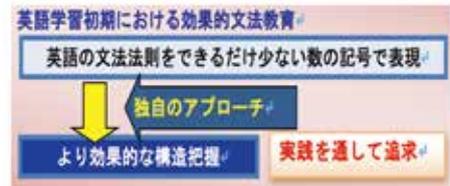
英文法理解の助けとするため、日本語文法も研究し、対照言語学的立場からのアプローチを模索し、日本語文法から英語文法への橋渡しの学習方法も明確化する。

2. 従来の手法に対する優位性

- 1) 英文法教育を感覚的なものにゆだねず、言語学的文法理論を背景に、文法の基本法則から、学習者が段階的に英文を理解する手法を採用することができる。
- 2) 英語学習者が無意識のうちに日本語の母語の干渉を受け、英文法理解がうまく進まない状況を、日本語の文法を意識させることで、より効果的に英文法を学ぶ手法を提示できる。

【主な研究成果など】

1. 「英語to-不定詞の形容詞用法の指導に関する一提言」（共著 熊谷由里子）、『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』、第40号：pp.69-78. 2021年3月。
2. 「英語の基礎力をつけさせる授業デザインとその成果」、『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』、第38号：pp.61-70. 2019年3月。
3. 「英語to-不定詞の指導手順に関する一提言—リメディアル教育の観点から—」（共著 熊谷由里子）、『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』、第38号：pp.21-30. 2019年3月。



5 その他

一般教科（人文科学）ラフカディオ・ハーンの研究



教授
横山 孝一

■産学連携の可能性

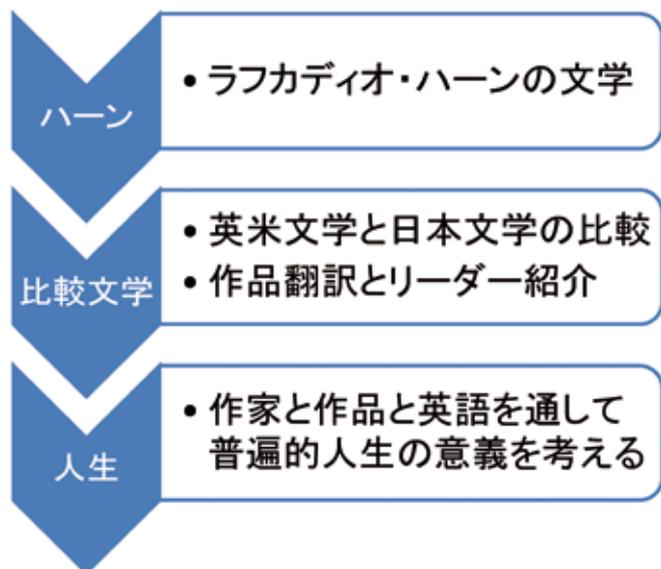
1. ラフカディオ・ハーンを中心とした英米文学の教授
2. 英米短編小説の翻訳、映画、英語リーダーの紹介

【主な研究分野】

1. ラフカディオ・ハーン研究
2. 英米文学と日本文学の比較研究
3. 英語教材グレイテッド・リーダー研究

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. ラフカディオ・ハーンの人生と文学を探究する
2. 英米の小説や映画の日本文化への影響を考察する
3. 英語教材グレイテッド・リーダーの内容と特色を紹介する



【主な研究成果・特許など】

1. 『学問的知見を英語教育に活かす—理論と実践』共著、金星堂(2019)
2. 『旅と文化—英米文学の視点から』共著、音羽書房鶴見書店(2018)

5 その他

一般教科（人文科学） 英語教育研究



教授
伊藤 文彦

■産学連携の可能性

1. 製品仕様書を英語で書く
2. 海外赴任社員のための英語ライティング教育
3. 英語教材開発

【主な研究分野】

1. 英語教育
2. 応用言語学

【主な研究内容・

連携のシーズなど】

1. 模範英作文の研究
2. 英作文の誤り分析



「短い単文」ではなく
「長い複文」を書くように
指導

△ American people celebrate Lincoln's Birthday. (5語)---「短い単文」

○ American people, most of whom respect the 16th President Abraham Lincoln, celebrate his birthday, February 12th. (16語)

(ほとんどのアメリカ人は第16代大統領エイブラハム・リンカーンを尊敬し、2月12日には彼の生誕を祝福する)---「長い複文」

【主な研究成果――論文】

1. Sentence Fragment Categories and Their Frequency of Occurrence in Japanese ESL Writing (2015) Southern Journal of Linguistics Vol. 39 No. 2 pp. 51-68 [米国]
2. The Nikkei Weekly社説記事の計量調査 ―ライティング力の向上を視野に入れた研究― (2018) 全国高等専門学校英語教育学会研究論集第37号 pp.41-50 [英語学論説資料第52号採録]

5 その他

一般教科（人文科学） 近代イギリス都市史



教授
宮川 剛

■産学連携の可能性

1. 都市史研究
2. 西洋史概説
3. 技術者の教養教育

【主な研究分野】

1. 近代イギリスの都市史
2. 近代イギリスにおける歴史叙述
3. 近代イギリスにおける共同体

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 近代イギリス都市の実態解明
2. 歴史的「記憶」についての研究
3. 共同体についての研究

【主な研究成果・特許など】

1. 「近世イギリス地方都市の歴史叙述――グレート・ヤーマスの場合」、『群馬高専レビュー』, 第36号, 2018年3月.
2. 「18世紀イギリス地方都市における危機と歴史叙述――『コルチェスターの歴史と古事』をめぐって」、『群馬高専レビュー』, 第38号, 2020年3月.



5 その他

一般教科（人文科学） 日本語学研究



准教授

田貝 和子

- 産学連携の可能性
日本在住外国人に対する日本語指導方法など

【主な研究分野】

1. 日本語の変化の様子を観察する
日本語史研究
2. 明治時代のことばの様子を観察する近代語研究
3. 文法により分析する文章研究

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 明治時代の文章を日本語学的手法により分析
2. 明治時代の小説作品における地の文の文語文から口語文に変化する過程を解明
3. 文語文から口語文へ移行する時期特有の表現を解明
4. 日本語学分野における文章研究方法論の確立

【主な研究成果・特許など】

1. 『近代の語彙(1)―四民平等の時代―』シリーズ〈日本語の語彙〉5, 陳力衛編, 朝倉書店, 2020年 分担執筆
2. 『全訳読解古語辞典 第五版』鈴木一雄・小池清治編, 三省堂, 2017年 項目執筆
3. 『日本語研究法〔近代語編〕』青葉ことばの会編, おうふう, 2016年 分担執筆
4. 『日本語大事典』佐藤武義・前田富祺編, 朝倉書店, 2014年 項目執筆

近代語研究



5 その他

一般教科（人文科学） 運動能力に関する研究

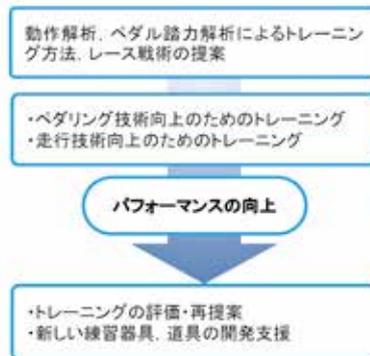


准教授

佐藤 孝之

- 産学連携の可能性
1. 自転車に関わること
 2. 幼児の運動能力に関すること

自転車競技における競技力向上



幼児の運動能力



【主な研究分野】

1. 自転車競技における競技力向上に関する研究
2. サイクリングの関する研究
3. 幼児の運動能力調査

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 客観的数値としてトレーニング状態の把握・提案
2. 運動能力測定により、ふだんの遊びの強度・時間・質を客観的に評価する

【主な研究成果・特許など】

自転車競技のペダリング技術と走行技術のトレーナー考, バイオメカニクス研究18(3)2014

5 その他

一般教科 (人文科学) 平安文学と有職故実



准教授

太田 たまき

■産学連携の可能性

1. 平安貴族の日常生活の検証
2. 平安時代の衣装、儀礼、建築物などの再現

【主な研究分野】

1. 讃岐典侍日記
2. 女官制度
3. 源氏物語

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 『讃岐典侍日記』の文意不明箇所を中心に、有職故実など隣接諸学と連動させた研究を行う。
2. 平安文学の最重要要素である「女官」「女房」の実態解明と、それによる各作品の新たな解釈の可能性、彼女たちが平安文学に果たした役割などを考察する。
3. 『源氏物語』に登場する女性全般の日常生活、通過儀礼などの考察。



子を抱く貴族の女性



主人夫婦とそれを囲む女房たち

【主な研究成果・特許など】

1. 『讃岐典侍日記』
—白河院の「かげ」—
(2021年3月)
2. 『讃岐典侍日記』「見られる」こと
の拒絶と許容
—女房たちの理想と現実—
(2020年3月)
3. 『讃岐典侍日記』鳥羽天皇即位儀
「右の典侍」から見た「帳あげ」
全景
(2020年3月)

5 その他

一般教科 (人文科学) 20世紀英文学



講師

板谷 洋一郎

■産学連携の可能性

1. 異文化交流研修
2. 英語の語学研修
3. 英語の製品説明書

【主な研究分野】

1. 20世紀初頭イギリス文学 (D・H・ロレンスの小説)
2. モダニズム作家の小説と短篇
3. 現代イギリス作家の小説と短篇

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. D・H・ロレンスの作品分析を通じて、その思想と当時の英国の文化・社会的状況について知識を深めることができる。
2. ロレンスやモダニズム作家を理論的に分析することで、その芸術的特性について理解し、芸術の発展にどう貢献したかをうかがい知ることができる。
3. 現代イギリス作家の作品分析を通じて、現代人が現代社会とどう向き合おうとしているかを理解できる。

【主な研究成果・特許など】

1. “ナラトロジーから読むペネロピ・ライヴリーの短篇における時間と語り
の構造”, 板谷 洋一郎, *New Perspective(新英米文学研究)*, 210, 14-26
(2020).
2. A Narratological Approach to D.H. Lawrence's “Daughters of the
Vicar”, Y. Itaya, *Journal of The Institute of Cultural Sciences (Chuo
University)*, 94, 75-98 (2019).
3. “The Boy in the Bush に見る古代的なものの復興”, 板谷 洋一郎, *New
Perspective(新英米文学研究)*, 207, 88-101 (2018).

5 その他

一般教科（人文科学） 言語変化に関する統語論的研究



講師
小菅 智也

■産学連携の可能性

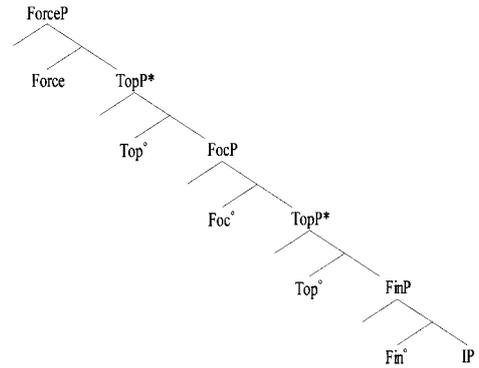
1. 自然言語処理
2. 英語教材開発

【主な研究分野】

1. 生成文法統語論
2. 史的統語論

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 日本語のテ形接続や形式名詞等、右側節境界に関する統語現象を共時的・通時的に分析し、自然言語の統語構造の地図 (the cartography of syntactic structure) の精緻化を目標とした研究を行っている。
2. 大規模コーパスを用い、複雑述語を用いた文の意味的・構造的な通時変化を記述・分析することにより、自然言語の変化の普遍性や文の階層性の普遍性を明らかにすることを目標とした研究を行っている。



CPのカートグラフィー
(Rizzi, Luigi (1997; 197))

【主な研究成果・特許など】

1. 新国・和田・小菅・小川 (2019) 「形式名詞「はず」の文法化と属格主語の容認性における世代間格差」小川芳樹編『コーパスからわかる言語変化と言語理論2』261-288, 開拓社.
2. 小菅智也 (2016) 「日本語の「V1+て+V2」形式の通時的発達に関する統語論的考察」小川芳樹・長野明子・菊地明編『コーパスからわかる言語変化・変異と言語理論』249-265, 開拓社.
3. Kosuge, Tomoya (2014) "The Syntax of Japanese Reciprocal V-V Compounds: A View from Split Antecedents," English Linguistics 31, 45-78.

5 その他

一般教科（人文科学） 英語教育



嘱託教授
飯野 一彦

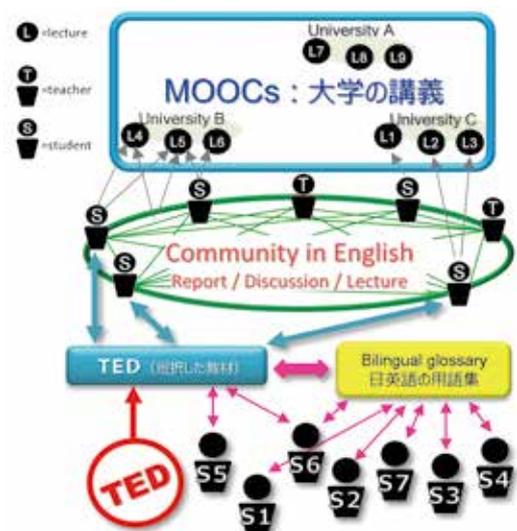
- ### ■産学連携の可能性
- 中級者から上級者向けの英語教材開発

【主な研究分野】

1. ルドルフ・シュタイナーの言語観と言語教育
2. SNSを利用した英語コミュニティの構築

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. ルドルフ・シュタイナー (1861～1925) の精神科学に基づく言語観の分析とシュタイナー学校における言語教育の研究
2. ユビキタスなシステム (SNS) をプラットフォームとして、教員も学習者も参加者、ファシリテーターとして、情報の共有、メッセージの伝え合いなどを通して、「ともに学び合う」学際的な英語によるコミュニティの構築。



英語コミュニティの構想図

【主な研究成果・特許など】

1. 「シュタイナー学校の英語の時間」(訳書) 水声社刊 (2013)
2. 言語教育の視点—シュタイナー学校の教室から—『青淵』第788号、23-25 (2014)
3. SNSに展開する英語によるディスカッション・ボードの構築と実践『全国高等専門学校英語教育学会研究論集』第35号 107-116 (2016)
4. TEDを利用したディスカッション・ボードの構築と実践—他大学との交流を中心に—『群馬高専レビュー』第35号 39-45 (2017)
5. 日本学術振興会：科学研究費助成事業（基盤研究（C）（一般））：研究代表者
研究題目：相互学習に基づいたSNSに展開する英語のコミュニティの構築と参加する学習者の評価
研究期間：2014年4月～2017年3月

一般教科（人文科学） 発話促進するためのプレゼン授業



嘱託教授
福田 昇

■産学連携の可能性

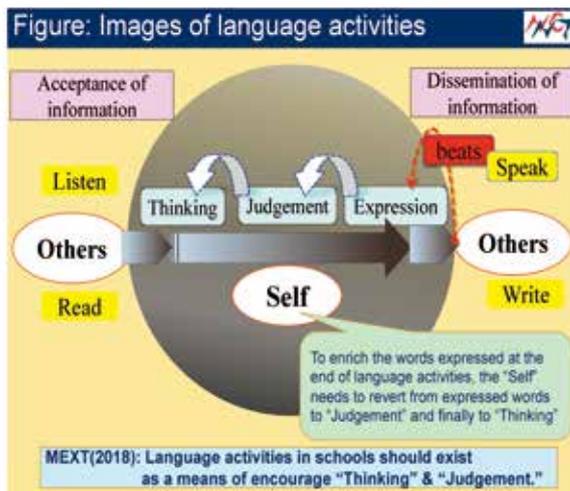
1. 発話型英語授業
2. 英語で学ぶSDGs教育授業
3. 課題解決型アクティブラーニング学習

【主な研究分野】

1. 外国語としての効果的な英語の語彙習得
2. 英語弁論大会・スピーチコンテスト（英語の論理的記述方法）

【主な研究内容・連携のシーズなど】

1. 日常生活のなかで英語を用いる環境に置かれていない学習者（EFL）が認知言語学に基づいて効果的に語彙習得をする学習方法の検証をしています
2. 25年間にわたる中学生の英語スピーチ指導を行ってきた経験から英語のプレゼンテーション指導が授業に及ぼす影響に興味があります



【主な研究成果・特許など】

Investigation of the Learning Effects of Presentation-style Lessons and the Basic Social Skills of Students with Spontaneous Beat Gestures, The European Conference on Education 2020 Official Conference Proceedings, The 8th European Conference on Education(JULY 16-19,2020 LONDON, UK, ISSN:2188-1162) pp.199 - 214